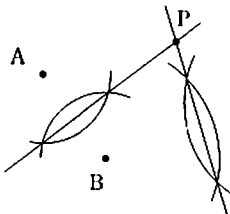
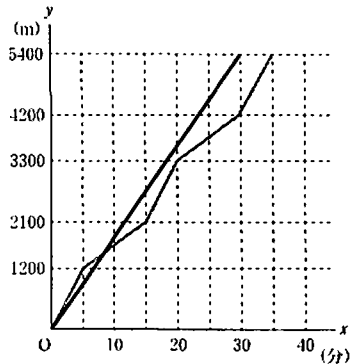


- 〔注意〕 1 この配点は、標準的な配点を示したものである。
 2 定められた答えの欄に答えが書かれていないときは、点を与えない。
 3 指示された答えと違う表現で答えの欄に記入されていても、正答と認められるものには、点を与える。
 4 採点上の細部については、各学校の判断によるものとする。

問 題	正	答	配 点
1	1 -3	2 5	2 点 $\times$ 14 28
3	$40x^3y^3$	4 $\frac{7x-2}{6}$	
5	$x^2 - 8x + 16$	6 $2a + 6$ (cm)	
7	$5\sqrt{5}$	8 12(分後)	
9	102(度)	10 $(x=) - 7, 1$	
11	30(度)	12 6(通り)	
13	$(x=) - \frac{8}{3}$	14 $0 \leq y \leq 9$	
2	1 $40(\text{cm}^3)$ 3 $(a=) \frac{3}{2}$	(例) 	1 は 3 点 2 は 4 点 3 は 3 点 10
3	(例) 最も小さい奇数を $2n+1$ (n は整数) とすると、他の 2 つの整数はそれぞれ、 $2n+2$ 、 $2n+3$ と表せる。これらの和は $(2n+1) + (2n+2) + (2n+3) = 6n+6$ $= 6(n+1)$ $n+1$ は整数だから、 $6(n+1)$ は 6 の倍数である。 したがって、奇数から始まる連続する 3 つの整数の和は 6 の倍数になる。	(1) ア 3 イ 6	1 は 6 点 2 (1) は 2 点 $\times$ 2 2 (2) は 5 点 15
2	(例) 調理台の台数を x 台とすると、1 台の調理台を 4 人で使うときの生徒の人数は $(4x+3)$ 人、5 人で使うときの生徒の人数は $(5(x-2)+4)$ 人と表すことができるから (2) $4x+3 = 5(x-2)+4$ $4x+3 = 5x-6$ よって $x=9$ したがって、このクラスの生徒の人数は $4 \times 9 + 3 = 39$	答え (9 台、39 人)	

問 題	正	答	配	点
4	1	(例) △ABD と△ACE において 仮定より AD = AE① △ABC は正三角形だから AB = AC② ∠BAD = ∠ACB③ AE // BC より、平行線の錯角は等しいから ∠ACB = ∠CAE④ ③、④より ∠BAD = ∠CAE⑤ ①、②、⑤より 2 辺とその間の角がそれぞれ等しいから △ABD ≡ △ACE	1 は 7 点 2(1) は 3 点 2(2) は 5 点	15
	2	(1) $(a =)\sqrt{2}$ (2) $\frac{\sqrt{6}}{4}a^2(\text{cm}^2)$		
5	1	$(y =)240x$		
	2	(1)  (2) (例) 5 分後から 15 分後までの間するとき、A さんについてのグラフの傾きは 90 であるので、A さんについての x と y の関係の式は $y = 90x + b$ と表せる。 グラフは点 (5, 1200) を通るから $b = 750$ したがって $y = 90x + 750$① また、B さんについての x と y の関係の式は $y = 180x$② ①、②より $90x + 750 = 180x$ よって $x = \frac{25}{3}$ このとき $y = 180 \times \frac{25}{3} = 1500$ 答え (1500 m)	1 は 2 点 2(1) は 3 点 2(2) は 6 点 3 は 5 点	16
	3	毎分 140 m, 毎分 165 m		
6	1	(A) 4 (枚), (B) 4 (枚)	2	$\frac{3}{8}$
	3	(例) (I), (II) の操作をあわせて 30 回行ったので $m + n = 30$① 必要となるシール B の枚数は、(I) の操作を m 回行ったときに $2m$ (枚)、最初の (II) の操作を行ったときに 3 枚、残りの $(n - 1)$ 回の操作では $4(n - 1)$ 枚である。シール B は 85 枚必要であるから $2m + 3 + 4(n - 1) = 85$ よって $m + 2n = 43$② ①、②より $n = 13$ ①に代入して $m + 13 = 30$ したがって $m = 17$ 答え ($m = 17, n = 13$)	1 は 2 点 2 は 4 点 3 は 6 点 4 は 4 点	16
	4	$2m + 4$ (枚)		